

平成 23 年 10 月 21 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 平成 23 年 10 月 21 日 (金曜日)

午後 3 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

2 場 所 福戸小学校 図書室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 羽賀 友信 委 員 中村 美和

委 員 青柳 由美子 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長 大滝 靖 教育総務課長 若月 和浩

教育施設課長補佐 山口 克彦 学務課長 武樋 正隆

子ども家庭課長 佐藤 正高 保育課長 佐野 勉

中央公民館長 鈴木 昇 中央図書館長 小倉 進

科学博物館長 山屋 茂人 学校教育課主幹兼管理指導主事 関谷 祐二

学校教育課主幹兼管理指導主事 山田 修 学校教育課主幹兼管理指導主事 大矢 慎一

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 栗林 洋子 教育総務課庶務係長 新沢 達史

教育総務課庶務係 平澤 司

6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2		議席の指定
3		委員長職務代行者の指定
4	第 37 号	長岡市平成 22 年度等における子ども手当の支給に関する法律施行細則の一部改正について
5	第 38 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 10 月定例会を開会する。既に皆さんも御承知のことと思うが、教育委員の異動があったため御報告させていただく。羽賀委員が再任され、内藤委員に代わり青柳委員をお迎えした。お二人から御挨拶いただきたいと思う。

(羽賀委員) 再任いただき、引き続き教育委員を務めさせていただくことになった。これからもよろしくお願ひしたい。

(青柳委員) これまでも様々な仕事でお世話になったが、教育委員という新しい仕事に就かせていただくことになったので、改めてよろしくお願ひしたい。

日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、中村委員及び青柳委員を指名する。

日程第 2 議席の指定

(大橋委員長) 日程第 2 議席の指定を行う。この度、教育委員の異動があったため指定を行うものである。議席の指定については、会議規則第 7 条の規定により、委員長が指定することになっているため、指定させていただく。

[各委員の議席を指定]

日程第3 委員長職務代行者の指定

(大橋委員長) 日程第3 委員長職務代行者の指定を行う。委員長の職務代行者の指定については、会議規則第2条の規定により、委員長の推選により委員会が行うことになっているため、第1順位は羽賀委員、第2順位は中村委員を推選する。これに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって第1順位は羽賀委員、第2順位は中村委員に決定した。

日程第4 議案第37号 長岡市平成22年度等における子ども手当の支給に関する法律施行細則の一部改正について

(大橋委員長) 日程第4 議案第37号 長岡市平成22年度等における子ども手当の支給に関する法律施行細則の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長) 今年度10月1日から子ども手当の支給に関する制度が改正されたことに伴い、細則の一部を改正するものである。改正の内容については、9月定例会で説明したとおりである。なお、この規則は公布の日から施行し、平成23年10月1日に遡って適用するものである。経過措置として、規則の施行日前においてなされた子ども手当の支給等に関する手続き等については、この規則の規定に基づいてなされた手続き等とみなすこととなる。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 市民、特に該当する子どものいる保護者への周知は、どのように行っているか。

(佐藤子ども家庭課長) 該当する方へ個別に通知を出している。転入者については、転入手続きの際に周知をするようにしている。

(加藤教育長) 1年で総理大臣が3人も交代する激動の時代である。そして、制度の改正等の影響を最も受けるのは、市民と直接接する機会の多い我々である。子ども手当の支給は大変な業務であるため、間違えのないようにお願いしたい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

日程第5 議案第38号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

(大橋委員長) 日程第5 議案第38号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について を議題とする。事務局の説明を求める。

(若月教育総務課長) 今年度の長岡市教育委員会表彰被表彰候補者は15件である。去る9月30日に表彰選考会を開催し、各所属長から提出のあった15件の内申について選考を行い、選考会として全ての案件について適と判断した。資料としてお配りした選考調書に基づいて1件ずつ説明する。長岡市立表町小学校音楽部は、長岡赤十字病院で訪問演奏を行って12年目になる。病院1階のホールを会場にして、毎年10曲程度演奏している。入院患者、病院関係者に大変好評であり、表彰規則第2条第1号に該当するものである。長岡市立山本中学校緑友会は、地域の環境美化に貢献する活動を積極的に行い、今年度で12年目になる。山本中学校の学区内にある桂小学校、浦瀬小学校へ生徒自ら説明に行き、中学生、小学生、保護者、地域住民が一体となってクリーン活動に取り組んでいる。表彰規則第2条第1号に該当するものである。長岡市立三島中学校緑友会は、地域の環境美化に貢献する活動を積極的に行い、今年度で6年目になる。三島地域で毎年5月に開催されるみしま西山連峰登山マラソンのマラソンロードを清掃しているものである。このクリーン活動は三島地域の住民がボランティアで行っているものであるが、毎年参加者が少ない状況である。そのような中、三島中学校の生徒が主軸となって清掃をしている。

中学校を卒業してからもクリーン活動に参加し続けてほしいという願いを込めての内申であり、表彰規則第2条第1号に該当するものである。南波儀平治さんは長岡市公立学校通学区域審議会委員として10年間寄与されたため、表彰規則第2条第3号に該当するものである。布川清八さんは長岡市公立学校通学区域審議会委員として12年間寄与されたため、表彰規則第2条第3号に該当するものである。池津宏さんは表町小学校の5年生に、社会科及び総合的な学習の時間において、田植えや稲刈りを指導する学校運営協力者であり、今年度で23年目になる。よって、表彰規則第2条第3号に該当するものである。吉田秀夫さんは表町小学校の6年生が実施している立山登山において、登山指導者として貢献している学校運営協力者であり、今年度で18年目になる。よって、表彰規則第2条第3号に該当するものである。江島千愛さんは平成23年度「道路ふれあい月間」推進標語中学生の部で、新潟県で初の最優秀賞を受賞されたため、表彰規則第2条第5号に該当するものである。岸弘道さんは長岡市栃尾地区体育協会役員として21年間寄与されたため、表彰規則第2条第6号に該当するものである。須田八郎さんは長岡市陸上競技協会役員として18年6月間寄与されたため、表彰規則第2条第6号に該当するものである。多田隆三さんは長岡野球協会役員として19年6月間寄与されたため、表彰規則第2条第6号に該当するものである。荒木宥図さんは平成23年度全国中学校体育大会・第51回全国中学校水泳競技大会 飛込の部 男子3m飛板飛込で優勝されたため、表彰規則第2条第6号に該当するものである。遠藤和子さんは長岡市母子保健推進員として18年間寄与されたため、表彰規則第2条第7号に該当するものである。本田有子さんは長岡市母子保健推進員として16年間寄与されたため、表彰規則第2条第7号に該当するものである。近藤亨さんは世界的な稀少動物であるユキヒョウを科学博物館に寄贈された方である。よって、表彰規則第2条第9号に該当するものである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 三島中学校の活動は6年目とのことだが、表町小学校や山本中学校より活動期間が短い。これは、高校生や社会人になっても活動を続けてほしいという願いを込めての表彰であって、年限のみで判断しないという理解でよいか。

(若月教育総務課長) そうである。例えば昨年度は、活動期間が3年の大島中学校

を表彰した。年限だけで判断せず、活動の功績に基づいて判断するものである。

(加藤教育長) 事務局へ提案だが、来年度以降の表彰選考会の在り方を検討してもらいたい。現在、選考委員は事務局からのみ選ばれているが、第三者等を委員としてはどうか。それから、関係機関への内申依頼は徹底されているか。学校運営協力者については各校で似たような事例があると思う。出したら勝ちということにならないよう努めてほしい。

(若月教育総務課長) 表彰選考会の在り方や、内申依頼の徹底について、今後検討していきたい。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告に入る。まず、学校・保育園等での空間放射線量測定結果について、事務局から説明を求める。

(武樋学務課長) これまで学校及び保育園等において空間放射線量を測定してきたが、この度、測定が完了したため報告する。測定期間は9月16日から10月6日までの実質16日間である。測定場所は市立学校と私立を含む保育園及び幼稚園の合計185か所である。測定位置は、校庭や園庭等5か所で、それぞれ地表から10cm、50cm、1mの位置で測定し、その平均値を出した。その他、側溝や除草した草などを堆積している場所でも、地表から10cmの位置で測定した。測定結果についてはお配りした別表のとおりである。川口小学校と川口中学校において市の土壌除去基準を超えたため、即日、土壌除去を実施し、基準以下になったことを確認した。なお、この市の基準は国の基準よりも約3倍厳しいものである。除去した土はドラム缶で封じ込めて撤去した。このことについて、学校だよりで保護者には周知している。今後、8月から測定を実施している13か所を定点として、毎月1回

測定し、ホームページ等で結果を公表する予定である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) このことに関し、保護者等から要望やクレームはないか。

(武樋学務課長) 測定を行う時期等について問い合わせはあったが、特段、要望やクレームはなかった。

(羽賀委員) 内部被曝の問題から、給食についての要望やクレームはないか。

(武樋学務課長) これまでに安全性についての問い合わせはあった。このことについては、県が毎日数品目ずつ安全性の検査をしており、安全であることが確認されている。また、正式な時期は未定だが、県が測定器を準備し、希望する市町村が食品を持ち込んで検査を受けられるよう、体制整備を進めている。長岡市も検査を希望したいと考えている。

(大橋委員長) 除去した土を詰めたドラム缶をどこに撤去したのか。

(武樋学務課長) 川口地域内で普段人が立ち入らない場所を選んで撤去した。

(加藤教育長) 来年度から中学校の学習指導要領が改訂されるが、約 30 年ぶりに理科で放射能の単元が出るようである。子どもに正しい知識を教える良い機会であり、放射能で苦しんでいる地域の人への思いやりの心を育むことになると思う。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 他にないようなので、次に、ポニー関連事業の実施状況について、事務局の説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長) ポニー関連事業は「熱中！感動！夢づくり教育」事業の一環として実施している。この事業は実行委員会形式をとっており、市民等の意見を聞きながら取り組んでいる。また、事務局としても学校教育課や市長事務部局と連携しながら取り組んでいる。ポニーカーニバルでは、毎年車いすの子どもも参加しており、動物と触れ合う良い機会となっている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) ないようなので、次に、平成 23 年度 県下生物標本・自然科学写真展示会の開催について、事務局の説明を求める。

(山屋科学博物館長) 第60回県下生物標本展示会・第53回県下自然科学写真展示会を10月24日から11月6日までの日程で開催する。今回60周年ということで、大阪市立自然史博物館学芸員2名から記念講演を行っていただく。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(羽賀委員) このような自然科学に関する子どもの興味は、昔と比べてどうなっているか。

(山屋科学博物館長) 例えば標本などについては確かに若者が離れているが、それを応用した生態学や環境問題に関心を持つ若者は増えている。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 他に協議報告はないか。

(佐藤子ども家庭課長) 11月20日にホテルニューオータニ長岡を会場として、平成23年度子ども・子育て支援 家族の日フォーラムを開催する。今回のテーマは、「家族 地域の絆 支え合い こころひとつに～新潟県中越地震、復興の地 長岡から全国へ～」ということで、東日本大震災からの復興に関連したテーマとなっている。パネルディスカッションでは、羽賀委員から御参加いただくことになっている。

(大橋委員長) 他に協議報告はないか。これをもって協議報告事項を終了する。

(大橋委員長) 本日は、定例会の前に上川西小学校、福戸小学校を訪問した。委員の方々からの意見、感想はいかがか。

(中村委員) 上川西小学校は私の母校であるが、当時より大規模校になっている。2年生の授業を見学したが、どの児童も授業に集中しており、活発な様子であった。人数が多い割に整理整頓ができていて、ゴミが落ちているようなこともなかった。福戸小学校は小規模校であるため、先生は工夫して指導していると感じた。先生、保護者、地域の方が協力して学校を支えていると感じた。

(青柳委員) 今回訪問した2校は大規模校と小規模校という両極端の学校であった。上川西小学校の校長先生は、学力よりも心を育てたいと言っていた。掲示物や私物

がきれいな様子から、先生の熱意が児童に伝わっていると感じた。福戸小学校は複式学級ということで、先生がいろいろ工夫してがんばっていると感じた。

(羽賀委員) 上川西小学校では、相手の話を聞いて相手を育て、更に、聞き手の立場から話せるように指導している。また、人の手を借りることの大切さも指導している。このことは、お互いの違いを認め合うことに繋がり、いじめの根絶にもつながることである。福戸小学校では学習の遅れている子には自主学習を推奨しているとのこと。子どもが少ないことの問題点として、先生との関係が緩み、緊張感がなくなることが挙げられる。また、文章問題や表現が苦手な児童が多いと先生から伺った。

(大橋委員長) 上川西小学校は大規模校なのに、児童一人一人に先生の指導が行き届いている。福戸小学校は、今後児童が増える予定であるとのことで、複式学級の解消へ希望が持てる。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員